

健康寿命延伸に向けた新たな取り組み

新潟県燕市

後編



新潟県燕市は越後平野のほぼ中央、県都新潟市と長岡市の中間に位置しています。人口約8万2千人、国民健康保険の被保険者数は約1万9千人の自治体です。

北陸自動車道三条燕インターチェンジと上越新幹線燕三条駅といった高速交通機関があり、主要国道116号、289号が整備され、JR越後線、弥彦線が交差するなど交通網が充実しています。

燕市は、被保険者の生活の質を維持・向上し、できる限り長く自立した日常生活を送ることができるよう、被保険者の主体的な健康保持増進を図ることを目的・目標とし、様々な保健事業を実施しています。

COPD検診

開始

COPD（慢性閉塞性肺疾患）とは、（いわゆる）慢性気管支炎と肺気腫・慢性気管支炎とも呼ばれてきた肺の病気の総称で、喫煙等によって気道や肺に炎症が生じ、肺としての働きが低下するものです。咳や痰がからみ、動くと息切れがあります。COPDの初期は症状に気づきにくいので、十分な治療を受けず、症状が現れて病院に行くと、すでに重症化している場合があります。

また、COPDは認知度が低いことも早期発見が遅らせている理由の一つです。

本市では、平成27年度より特定健康診査時に喫煙中の被保険者を中心に無料のCOPD検診を開始しました。検診は、簡易スパイロメータを勢よく吹いてもらうことで、肺機能を測定するものです。

平成24年度～平成26年度の特健康診査の際に一度でも「喫煙」と回答した人に対し、特定健康診査の受診券とは別にCOPDの説明や検査方法を記載した受診勧奨通知を送付しました。

このCOPD検診は、喫煙者のCOPDの早期発見を実現するだけでなく、COPDの認知度を上げることにも大きく貢献すると考えます。

平成27年度の5月～6月の集団健診では、419人の人がCOPD検診を受診し、検診の結果に異常がある被保険者に対して、医療機関への受診勧奨を実施いたしました。

燕市のデータ	
人口	： 約8万2千人
被保険者数	： 約1万9千人

通知書

今年度より、COPD（慢性閉塞性肺疾患）検診を実施することになりました！
～師の病気を早期発見・予防するために検査を受けてみませんか～

COPD（慢性閉塞性肺疾患）検診を受けるには？

- 対象者 平成27年度健康診査で「喫煙」の欄に「はい」の回答があり、加入中の医療保険の「健康増進の方」
- 検診内容 簡易スパイロメータを用いて肺機能を測定します。検査時間は約5分です。検査結果は、医師が診察時に結果を説明します。また、必要に応じて医師の指導に従ってください。
- 検診方法 簡易スパイロメータ（スパイログラフ）を用いた検査となります。検査は、医師の指導に従ってください。
- 検診費用 無料です。特定健診とともにCOPD検診を受けることができます。

COPD（慢性閉塞性肺疾患）とは

COPDは、気管支炎、肺気腫などからなる呼吸器疾患の総称です。喫煙が主な原因で、肺の働きが低下し、呼吸が困難になります。初期は咳や痰、息切れなどの症状が現れます。進行すると、呼吸器機能が低下し、最終的には呼吸器不全による死亡に至ります。

COPD（慢性閉塞性肺疾患）の危険性

COPDは、気管支炎、肺気腫などからなる呼吸器疾患の総称です。喫煙が主な原因で、肺の働きが低下し、呼吸が困難になります。初期は咳や痰、息切れなどの症状が現れます。進行すると、呼吸器機能が低下し、最終的には呼吸器不全による死亡に至ります。

お問い合わせ先

株式会社 データホライゾン

広島本社
TEL：082-279-5553
担当：米田

東京支店
TEL：03-6265-3015
担当：横関

平成27年9月発行

情報「日本健康会議」発足

健康寿命の延伸と医療費適正化を目指した「日本健康会議」が7月10日に発足しました。

経済界、保険者、自治体、医療団体、学会等が連携し、課題解決に向けた具体的な活動を行います。活動指針は「健康なまち・職場づくり宣言2020」として、品質確保・安定供給を国に求めつつ、すべての被保険者が後発医薬品の利用勧奨など、使用割合を高める取り組みを行う。など、8項目の具体的な活動内容が発表されています。

本市では、医療費適正化への取り組みとして、平成24年度にジェネリック医薬品の利用促進事業を開始し、県内に先駆けてジェネリック医薬品差額通知により被保険者への情報提供を始めました。差額通知の際に活用するレセプトデータと特定健診結果を組み合わせることで、本市の実態を明確にし、的確な保健指導の実施に努めており、平成25年度以降も様々な新規事業を開始しながら事業展開を図っております。

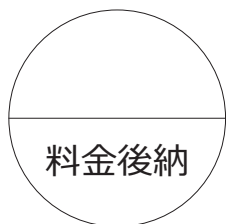
その国保保健事業の一部をご紹介しますと、平成25年度は「慢性腎臓病（CKD）進行予防事業」や、「特定健診受診率向上事業」として集団健診未受診者を対象に追加の健診機会を設け、受診勧奨通知発送を開始。平成26年度では地元医師会の協力・連携のもと「糖尿病性腎症重症化予防事業」、また「胃がん対策事業」として市の集団健診時に胃がんリスク検診（ABC検診）。平成26年度に策定したデータヘルス計画に基づいたうえで、平成27年度は「慢性閉塞性肺疾患（COPD）進行予防事業」として、集団健診でCOPD検診を実施しました。

今後とも、短期で効果のある施策と中長期的に効果のある施策を国保保健事業の両輪と位置付けて事業展開を進めながら、医療費適正化に繋げていきたいと考えております。

燕市 保険年金課のみなさま



データヘルスのことは、
データホライゾンにお任せください



ゆうメール

差出人（差出發行代行）

返還先：〒 734-0013 広島市南区出島 1-19-20

佐川急便（株）中国・四国支社内 メールセンター⑥ 2-1

このお荷物はご依頼人様からお預かりした荷物を当社
が差出人となって発行代行しています。

広島から国保の元気を応援します

裏面では、

「新潟県燕市の取り組み（後編）」

をお届けします。

■ お問い合わせ先

株式会社 データホライゾン

広島本社

〒 733-0834

広島県広島市西区草津新町 1-21-35

広島ミクスビル

TEL：082-279-5553

FAX：082-279-5620

担当：米田

東京支店

〒 162-0825

東京都新宿区神楽坂 1-1

三幸ビル

TEL：03-6265-3015

FAX：03-6265-3019

担当：横関